

令和6年第2回定例会 一般質問

- 1 川越 信男 議員----- P. 1
- 2 池田 みすず 議員----- P. 2
- 3 宮迫 隆憲 議員----- P. 3 ~ 4
- 4 前田 隆 議員----- P. 5 ~ 6
- 5 高橋 理枝子 議員----- P. 7 ~ 8
- 6 梅木 勇 議員----- P. 9 ~ 10
- 7 新原 勇 議員----- P. 11 ~ 12
- 8 北方 貞明 議員----- P. 13
- 9 川畑 三郎 議員----- P. 14
- 10 感王寺 耕造 議員----- P. 15 ~ 16
- 11 池山 節夫 議員----- P. 17

1 川越 信男 議員

一問一答方式

1 市内冠水対策の調査状況と今後の取組について

市 長

副 市 長

(1) 現在までの調査結果と今後の調査箇所について

関 係 課 長

(2) 調査結果を踏まえた実施計画について

2 地域おこし協力隊の現状と今後の取組について

市 長

副 市 長

(1) 地域おこし協力隊の現状について

関 係 課 長

(2) 今後の取組について

3 小売業店舗改装・開業支援事業の現状と今後の見込みについて

市 長

副 市 長

(1) 今回の支援制度の現状について

関 係 課 長

(2) 今後の支援制度活用の見込みについて

4 旧牛根中学校及び周辺市有財産利活用の現状と今後について

市 長

副 市 長

(1) 現在の状況について

関 係 課 長

(2) 企業提案における牛根地区の将来展望について

2 池田 みすず 議員

一問一答方式

- | | | |
|---|-----------------------|---------|
| 1 | 元女性消防職員の退職に伴う報道について | 市 長 |
| | (1) 報道の内容について | 副 市 長 |
| | (2) 環境整備について | 関 係 課 長 |
| | (3) ハラスメントについて | 消 防 長 |
| | | 消 防 本 部 |
| 2 | 学童保育について | 市 長 |
| | (1) 今年度の児童クラブの状況について | 副 市 長 |
| | (2) 長期休業中における食事提供について | 関 係 課 長 |
| | (3) 支援員の負担軽減と環境改善について | |
| | (4) 児童クラブの安全管理について | |
| 3 | 自然学校事業について | 市 長 |
| | (1) 自然学校事業の経緯について | 副 市 長 |
| | (2) 今後の自然学校事業について | 教 育 長 |
| | | 関 係 課 長 |

3 宮迫 隆憲 議員

一問一答方式

1 鳥獣害対策について

市長
副市長
関係課長

(1) 3月議会後の進捗状況は

(2) 猟友会の方々の意見・要望はないのか

2 消防職員の勤務体制について

市長
副市長
関係課長
消防長
消防本部

(1) NHKの報道では「庁内での業務を担当させられた」とあるが、勤務状況を伺う

(2) 現在、全国のデータで見たときの女性消防職員の担当業務と職場環境を伺う

3 消防職員の人員確保について

市長
副市長
関係課長
消防長
消防本部

(1) 直近3年間の火災・救急・救助件数の推移と救急業務の運用について

(2) 救急件数の増加に伴う職員定数の考え方は

4 鹿島匡人シェフと連携した本市食材PRについて

市 長
副 市 長
関 係 課 長

(1) これまでどのような取組があったか

(2) これからの連携した取組について

5 定住促進住宅について

市 長
副 市 長
関 係 課 長

(1) 子育て世代の家賃減額は講じられているが、高齢者に対しても家賃の減額はできないのか伺う

4 前田 隆 議員

一問一答方式

1 介護保険料について

市 長

副 市 長

関 係 課 長

(1) 保険料と介護給付費準備基金について

ア 令和5年度末介護給付費準備基金の残高と取崩し額及び取崩し後残高は

イ 取崩しの効果と取崩しの来期への影響は

(2) 保険料を増減する調整交付金について

ア 本市の調整交付金の現状比率と来期の比率見通しは

(3) 保険料の第1号被保険者負担分相当額の割合について

ア 計画期間ごとに都度見直されるか

2 出生数と未婚率について

市 長

副 市 長

関 係 課 長

(1) 出生数目標値500人について

ア 令和5年度の出生数及び累計目標に対する進捗と評価、今後、出生数増加にどう取り組むか伺う

イ 令和5年度の婚姻件数と結婚新生活支援事業の利用状況について

(2) 未婚率改善目標について

ア 実績値把握不可能の理由は何か、令和5年度の実績値は

イ 未婚率は平成27年度より上昇しているが、要因は何か、その改善にどう取り組んでいるか伺う

(3) 婚活イベントとAI婚活支援取組について

ア 婚活イベントの参加者、効果、傾向を伺う

イ AI婚活等への登録サポートと大隅定住自立圏との婚活連携は検討したか

3 本城川の寄り洲除去と橋の改修について

市長
副市長
関係課長

(1) 本城川寄り洲除去の今年度予定について伺う

(2) 本城川と井川の橋梁長寿命化修繕計画の現状と予定について

ア 現状改修を終えたもの、当分健全な状態のもの、順次改修が必要なものの区分内訳と今後の改修予定を伺う

5 高橋 理枝子 議員

一問一答方式

1 元女性消防職員に関する報道

市 長
副 市 長
関 係 課 長
消 防 長
消 防 本 部

- (1) 元女性消防職員用の環境整備が遅れた理由
- (2) 元女性消防職員へ仮眠室建設に対する詳細な説明と流れの説明はどのようなものであったか
- (3) 報道で出された総務省消防庁のコメントについて（本市として問い合わせた内容と回答）
- (4) 令和6年4月10日全員協議会でハラスメントについては事実確認中という説明を受けたがその後の動きは
- (5) 消防に特化したハラスメント研修はどのようにしていたか
- (6) 庁内ハラスメント処理委員会を立ち上げるためにはどのような手続きが必要か

2 教育問題

市 長
副 市 長
教 育 長
関 係 課 長

- (1) 新年度の学級経営のスタートはどうか
- (2) 不登校児童生徒の進級時の配慮は
- (3) 垂水中央中学校内の教育支援センター（旧適応教育支援）の利用状況は

- | | | |
|---|--|----------------------------------|
| 3 | 文化財の表記 | 市 長
副 市 長
教 育 長
関 係 課 長 |
| | (1) 市内にある文化財の外国語表記の現状は | |
| | (2) 文化財の外国語表記の今後の取組について | |
| 4 | 定額減税 | 市 長
副 市 長
関 係 課 長 |
| | (1) 令和6年6月実施となっているが概要の説明を | |
| | (2) 調整給付金とは | |
| 5 | 防災対策 | 市 長
副 市 長
関 係 課 長 |
| | (1) 梅雨時期、台風シーズンに向けて避難所開設のタイミングは | |
| | (2) 女性用、乳児用、高齢者用防災備蓄について内容見直しの提案をしたがその後は | |

6 梅木 勇 議員

一問一答方式

1 市営墓地について

市 長
副 市 長
関 係 課 長

(1) 今年度の管理計画は

ア 墓地内の除草計画について

イ 看板について

ウ 予算額について

(2) 環境整備について

ア 越境木の取扱いについて

2 グラウンドゴルフ場の整備について

市 長
副 市 長
関 係 課 長

(1) 牛根地区について

ア 代替地の候補はあるのか

イ 説明会実施の意向はあるのか

(2) 中央地区について

ア 進捗状況について

3 地域医療について

市 長
副 市 長
関 係 課 長

(1) 牛根地区の医療整備について

ア 進捗状況について

(2) 牛根中央クリニック跡地を拠点とした考えはどうか
のか

7 新原 勇 議員

一問一答方式

1 多死社会について

市 長
副 市 長
関 係 課 長

- (1) 見守りが必要な世帯について現在の状況は
- (2) 福祉課または包括センターの休日時間外対応について
- (3) 市営住宅の死亡後荷物の処分の方法は
- (4) エンディングノートの活用

2 庁舎について

市 長
副 市 長
関 係 課 長

- (1) トイレの完全洋式化及び温水洗浄機付きトイレの設置について
- (2) オストメイト対応トイレの導入及びバリアフリートイレの案内板について

3 人口戦略会議の消滅可能性自治体からの脱却について

市 長
副 市 長
教 育 長
関 係 課 長

(1) 令和5年度の出生者数と令和6年度の傾向は

(2) 市営住宅の空き家状況とすぐ入れる部屋数は

(3) 空き家対策の現状は

(4) 垂水市奨学金申請者数と免除者数の割合について

(5) 垂水の情報発信について

(6) 消滅可能性自治体と名指しされたが、今後の取組は

4 県知事選の期日前投票について

市 長
副 市 長
関 係 課 長

(1) 市民館ロビーではできないのか、また、耐震作業における駐車場問題はどうか考えているのか

8 北方 貞明 議員

一問一答方式

- | | | |
|-----|-----------------------------|----------------------------------|
| 1 | 公設市場について | 市 長
副 市 長
関 係 課 長 |
| (1) | 建物の老朽化により天井からの落下物があるが補修計画は | 関 係 課 長 |
| 2 | 牛根中学校跡地の企業進出計画について | 市 長
副 市 長
関 係 課 長 |
| (1) | なぜ牛根小学校区（二川地区）のみの地元説明会だったのか | 関 係 課 長 |
| (2) | グラウンドゴルフ場の代替地の検討は | |
| 3 | 買い物弱者について | 市 長
副 市 長
関 係 課 長 |
| (1) | 本市では買い物弱者の対策はどのようになっているか | 関 係 課 長 |
| 4 | 文化会館のトイレについて | 市 長
副 市 長
教 育 長
関 係 課 長 |
| (1) | トイレの現状について | 教 育 長
関 係 課 長 |
| (2) | 洋式化への検討は | |
| 5 | 修学旅行の民泊について | 市 長
副 市 長
関 係 課 長 |
| (1) | 民泊の発足当時の状況と現状の違いについて | 関 係 課 長 |

9 川畑 三郎 議員

一問一答方式

1 災害対策について

市 長
副 市 長
関 係 課 長
消 防 長
消 防 本 部

(1) 災害発生前の対応は

2 公共事業について

市 長
副 市 長
関 係 課 長

(1) 林道整備事業の進捗状況は

(2) 米山ため池、三角ため池の今後について

(3) 橋梁長寿命化修繕計画について

3 漁業振興について

市 長
副 市 長
関 係 課 長

(1) 今年度のモジャコ採捕の現状について

(2) 人工種苗の実績と効果について

(3) フィッシャリィガールのこれからの活動について

(4) カンパチ祭について

10 感王寺 耕造 議員

一問一答方式

1 堆肥センターについて

市長
副市長
関係課長

- (1) 今回の補正予算で1,251万3,000円の不良堆肥処分費用が計上されている。不良堆肥発生の原因と処分量は
- (2) 堆肥の販売量、収入（生産物売払い収入）とも令和5年度の実績は対前年度比、大幅に減少している。原因の分析と販売対策は。また、製品の在庫状況は
- (3) 平成14年度に稼働し、令和6年度末には施設設備の耐用年数が経過する。修繕料も毎年度多額に上がっているが今後の方向性は

2 農業振興対策について

市長
副市長
関係課長

- (1) 新規就農者の直近5年間の数は。また、今後の対策は
- (2) 新規作物の選定について
- (3) 6次産業化の現状と今後の対応は
- (4) 農業者の高齢化が進み、耕作放棄地の増加が懸念される。農家の意向調査を実施し対応策を立てるべきでは
- (5) 鳥獣被害対策について
 - ア 駆除報酬増と狩猟期間中の市単独の駆除報酬支払の考えは

3 旧牛根中学校及び周辺市有財産利活用について

市 長
副 市 長
関 係 課 長

- (1) プロポーザル方式で取り組むとのことであるが、企業の今回の提案のみでは地域の様々な課題が解決できるものではないと考えるが見解は
- (2) 3月議会最終本会議の3月18日の全員協議会で初めて議員への説明があった。議会軽視ではないか。今回の提案は何を主要な目的としているのか。4月3日13時30分から牛根地区公民館で説明会があり、30名ほどの参加があったとのことであるが、意見の内容は。また、夜間開催も行い幅広い意見聴取と理解を求めべきであったと考えるが、また、牛根地区住人の理解が得られたと考えるのか見解を伺う
- (3) 現在の進捗状況はどうなっているのか

4 カスタマーハラスメントについて

市 長
副 市 長
関 係 課 長

- (1) 庁舎内でカスタマーハラスメントの事案が出ているのか
- (2) 県の自治体で職員名札の変更が相次いでいるが、本市での今後の取組は

5 フリースクールへの財政支援について

市 長
副 市 長
教 育 長
関 係 課 長

- (1) 県外ではフリースクール利用者へ授業料などを補助する自治体が増えているが、本市も取り組むべきでは

11 池山 節夫 議員

1 市政について

市長
副市長
教育長
関係課長

(1) 観光振興と交流人口増について

ア 新城宮脇公園について

イ 牛根中学校跡地について

ウ クルーズ船寄港増に伴う外国人観光客について

エ 高速船の就航について

(2) 錦江湾横断道路について

ア 大隅開発期成会での協議について

イ 新たなルート案について

(3) 定額減税について

(4) 介護保険料について

(5) 文化祭と産業祭について

2 教育行政について

市長
副市長
教育長
関係課長

(1) フリースクールについて

(2) インクルーシブ教育について